

白山の火山活動解説資料

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター

昨日（17 日）17 時頃から 22 時頃にかけて、白山周辺を震源とする火山性地震の一時的な増加がみられました。白山では、過去にも一時的な地震増加がみられており、今回の活動はそれらに比べ小規模で、その他の観測データの変化はなく、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

昨日（17 日）17 時頃から、山頂付近の深さ 3～4 km 付近を震源とする振幅の小さな火山性地震が一時的に増加しました。17 日の日回数は 42 回です。最大の地震は、17 日 18 時 45 分に発生したマグニチュード（M）0.6（暫定値）です。17 日 23 時以降は減少しており、18 日の回数は 10 時現在で 2 回です。

白山では、これまでも一時的な地震の増加が時折みられています。最近では、2014 年 12 月 16 日に地震が多発し、日回数 167 回を数えました。最大の地震は M3.4 でした。今回の活動は、これらの活動に比べ小規模です。また、低周波地震や火山性微動は観測されていません。白峰監視カメラ（白山山頂の西約 12km）による観測では、17 日夜は雲のため山頂付近は見えていませんでしたが、18 日 10 時現在で噴煙は観測されておらず、特段の変化は認められません。

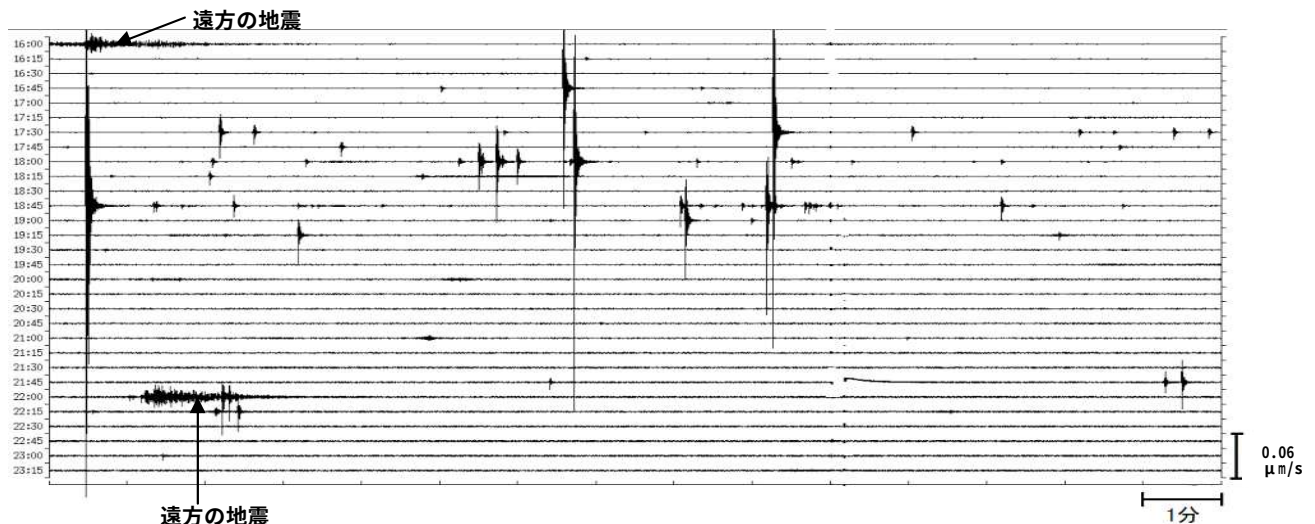


図 1 白山 弥陀ヶ原観測点地震波形（上下動速度）（2017 年 3 月 17 日 16 時 00 分～23 時 30 分）

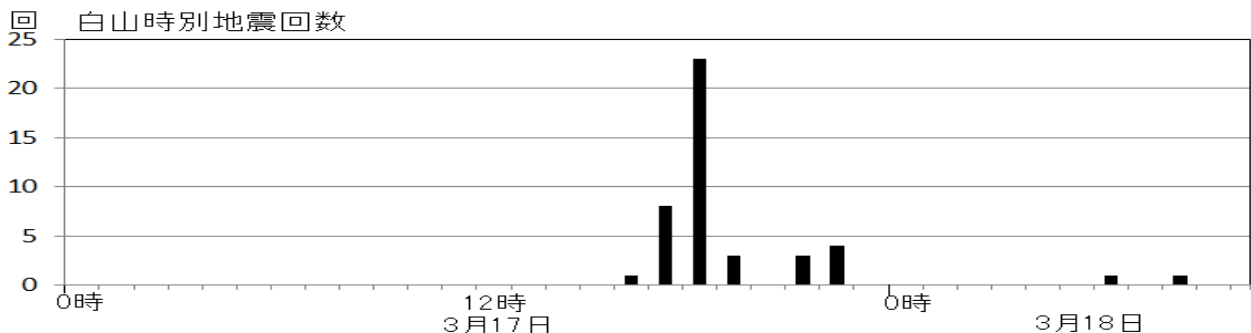


図 2 白山 時別地震回数（2017 年 3 月 17 日 0 時 00 分～2017 年 3 月 18 日 10 時 00 分）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、京都大学、東京大学、名古屋大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

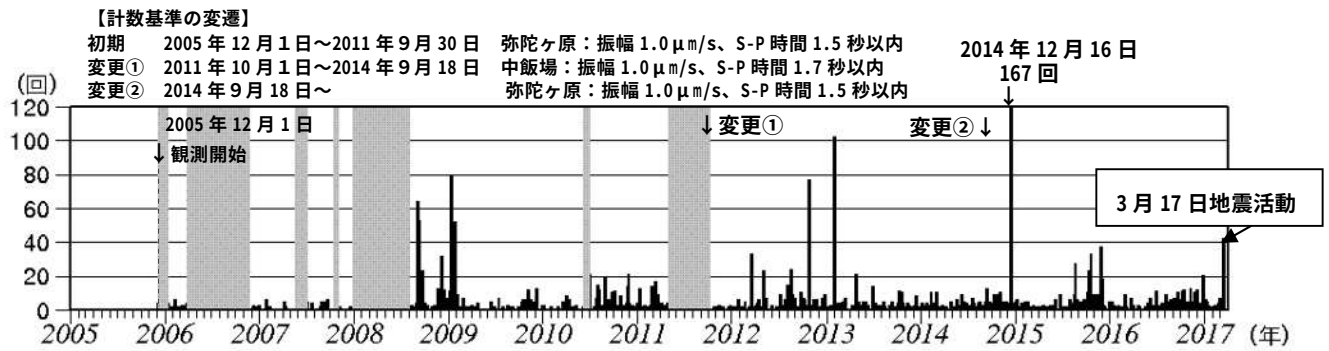


図3 白山 日別地震回数 (2005 年 12 月 1 日～2017 年 3 月 17 日)
・図の灰色部分は機器障害による欠測期間

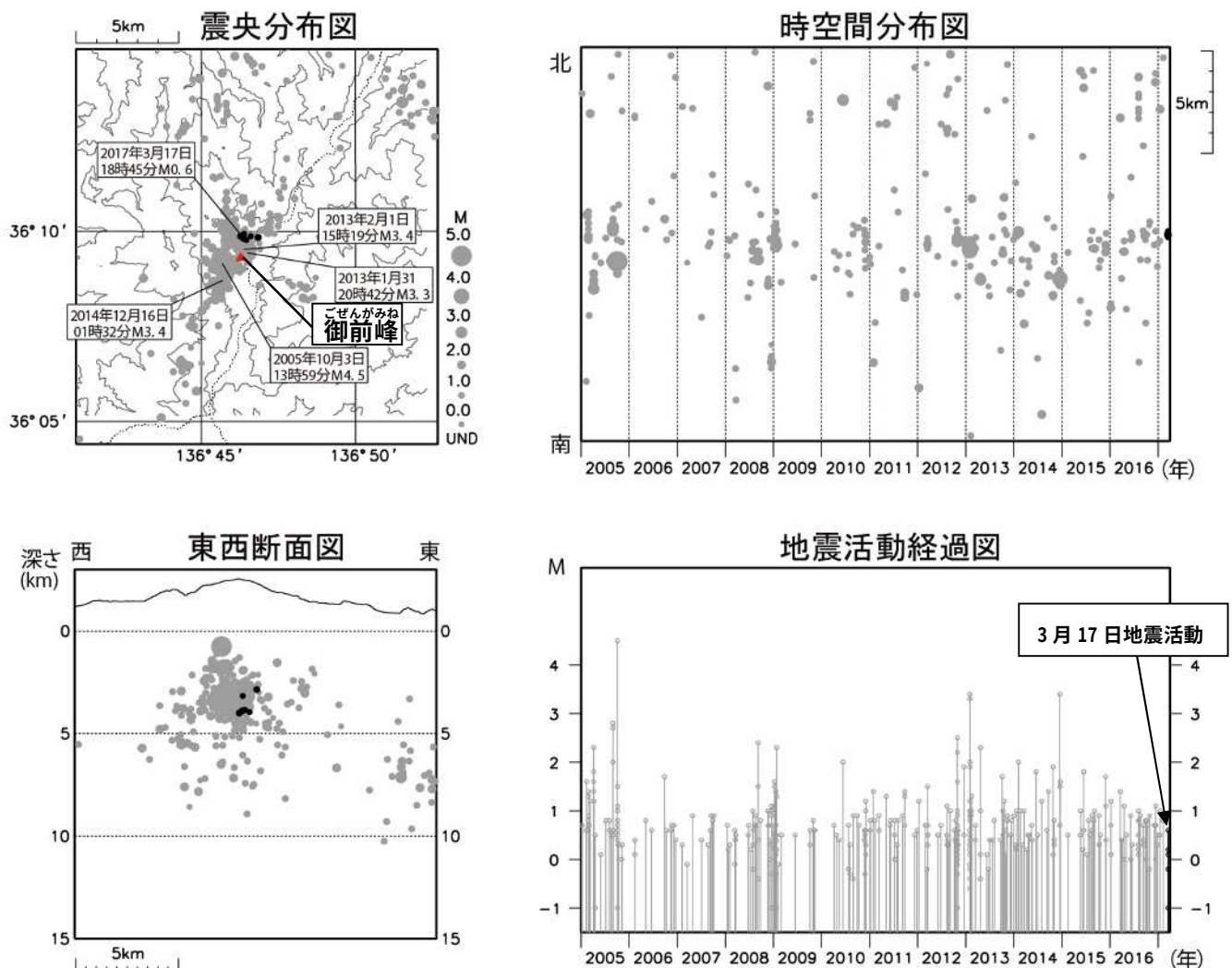
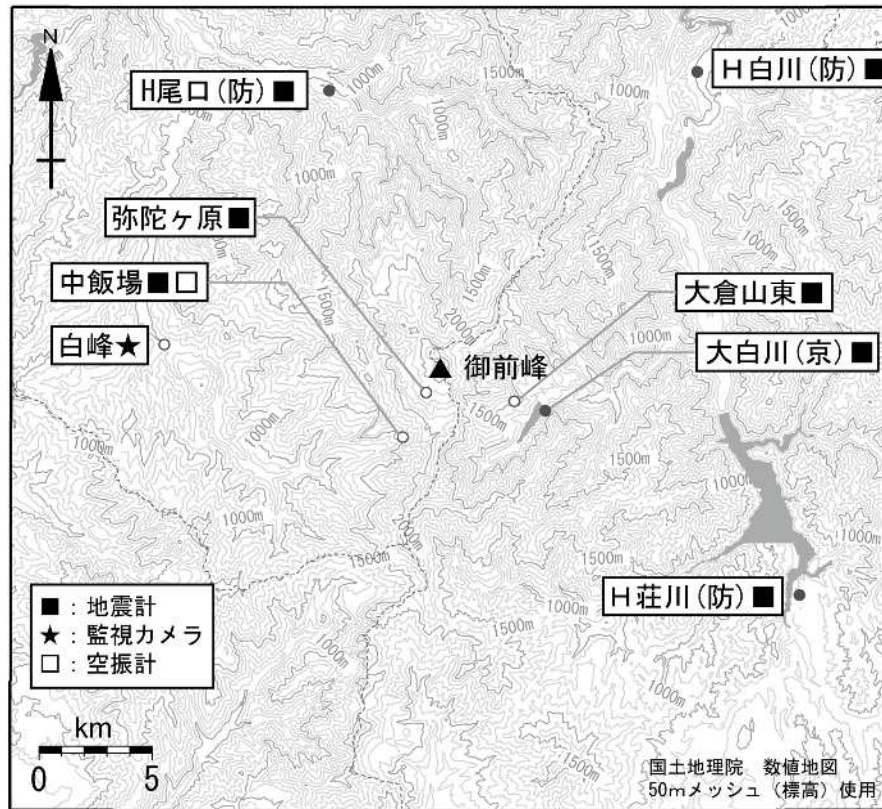


図4 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動 (2005 年 1 月 1 日～2017 年 3 月 17 日)

●：2005 年 1 月 1 日～2017 年 3 月 16 日 ●：2017 年 3 月 17 日

- ・ M (マグニチュード) は地震の規模を表します。
- ・ 図中の震源要素の一部は暫定値が含まれています。



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(防) : 防災科学技術研究所、(京) : 京都大学防災研究所

図5 白山 観測点配置図